

緑に親しみ 森で遊び 自然から学ぶ



「郷土の恵みの森」構想

あきる野の森は「恵み」の宝庫

市域に広がる森林は、秋川渓谷をはじめとする豊かな自然を育み、さまざまな動植物の棲家(すみか)となつています。どんな動物が、植物が育っているのか調べてみたり、山の状態を観察したり、もちろん木材の利用・活用や森林浴、里山をめぐるハイキング、森に囲まれた神社・仏閣など、森林には楽しさ、おもしろさ、オドロキなどの魅力、恵みがいっぱいあります。

特色ある森づくり

市内の森林は、地域によって様子が異なりますので、まず特性を把握するため、動植物の生息状況や地形、立地条件、観光施設や歴史

聞かせてください 森への思い

「郷土の恵みの森」構想の実現には、幅広い方々との連携・協力が必要です。そのため、森林特性評価後、地域の皆さんの森林に対する思いや考え方、地元ならではの森林の隠れた魅力や伝承、森林の将来の姿などについて、率直な意見をうかがうため、交流会を開催します。また、「郷土の恵

みの森」構想が親しみあるものとなるよう、イベントも実施していきます。

誇れる郷土の森へ

森林は、二酸化炭素を吸収して酸素を作り出す働きがあり、あきる野市の住みやすい環境を作り出す根幹のひとつとなっています。森林は、手入れをしなければやせた、荒れた森となつてしまつて言われていますので、特性を大切にしながら、地域の皆さんとともに森林にやさしい整備(下草刈りなど)を行い、次世代に引き継いでいきたいと考えています。



可憐(かれん)な花を咲かせるカタクリなど

森とあそぼう！ 菅生若宮地区子ども体験塾

子どもたちがふるさとの自然に触れ、学ぶことは、ふるさとあきる野に誇りを持ち、郷土愛や自然愛を育む上でとても大切なことです。「郷土の恵みの森」構想へのプロローグとして、市が所有する菅生若宮地区の森林を活用して、里山体



かつて森林が木材を産出して私たちの生活を潤したように、現代の森林の新たな活用による地域の活性化を実現し、緑の保護と活用の両立「人と森の新たな共生の姿」をめざします。そして、実行できるプラン作りを進めるため、「郷土の恵みの森」構想の実現に向けた森づくりは、市が所有する森林から手がけます。問合せ 企画政策課

新型インフルエンザ

感染の症状が出たら 発熱相談センターへ

海外の患者発生国から10日以内に帰国した方で、38度以上の発熱、せき、のどの痛みなどのインフルエンザ症状のある方は、必ず事前に発熱センターに電話で連絡し、受診する発熱外来の紹介を受けてから受診してください。

【発熱相談センターの連絡先】

平日 午前9時～午後5時
1183(3)
問合せ 健康課健康づくり係(直通558・509(都庁))
平日夜間・休日・祝日 03・5320・4509(都庁)
【新型インフルエンザに関する一般相談】
東京都医療機関案内サービス・ひまわり(03・5272・030)

6月の市民相談(予約制)

市役所
不動産取引相談...5日
税務相談...8日
法律相談...9日・23日
交通事故相談...10日
登記相談...19日
行政相談...24日
人権身の上相談...26日
五日市出張所
法律相談...4日
あきる野ルピア
特設人権身の上相談...1日
時間 午後1時30分～4時30分
予約 法律相談は、相談日の7日前の午前8時30分から電話で受け付けます。その他の相談は、随時受け付けます。
予約・問合せ 市民課市民相談窓口係(直通558-1216)

6月の健康相談

期日・場所
1日 ...市役所
15日 ...五日市ファインプラザ
時間 午後1時30分～3時30分
内容 血圧・体脂肪率測定、保健師・栄養士による健康や栄養に関する各種相談
受付 当日、会場へ
問合せ 健康課健康づくり係(直通558-1183)

世帯と人口

平成21年5月1日現在
世帯 32,540世帯
人口 81,670人(前月比 50人増)
男 40,904人
女 40,766人